

第93回 日本細菌学会総会

会務総会

2月20日(木) 13:10~14:20
第1会場(2F大ホール)

特別講演

SL1

2月19日(水) 15:50~17:10
第1会場(2F大ホール)

座長: 荒川 宜親 (名古屋大学)

SL1

我が国における科学技術・イノベーションの戦略的推進

○濱口 道成^{1,2} (1文部科学省 科学技術学術審議会 会長, ²国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長)

SL2

2月20日(木) 14:30~15:30
第1会場(2F大ホール)

SL2

Challenges and Opportunities in Antibiotic Discovery

○Kim Lewis (Antimicrobial Discovery Center, Northeastern Univ.)

SL3

2月20日(木) 15:40~16:40
第1会場(2F大ホール)

座長: 港 雄介 (藤田医科大学)
丸山 史人 (広島大学)

協賛: 国際共同研究加速基金

SL3

Genetic tools for making better drugs and vaccines

○Eric Rubin^{1,2} (1Harvard T. H. Chan Sch. Public Health Dept. Immunology and Infectious Diseases, ²Editor-in-Chief of the New England Journal of Medicine)

国際シンポジウム

IS1 From understanding of AMR to development of drugs against AMR

2月19日(水) 9:10~11:40
第1会場(2F大ホール)

コンピーナー: 土井 洋平 (藤田医科大学)
菅井 基行 (国立感染症研究所)

IS1-1

Multidrug-resistant *Pseudomonas aeruginosa* in Japan and Asia

○切替 照雄 (順天堂大・医・微生物)

IS1-2

Emerging resistance mechanisms in Enterobacteriaceae

○土井 洋平^{1,2} (1Div. Infect. Dis., Univ. Pittsburgh Sch. Med., ²Dept. Microbiol. Infect. Dis., Fujita Health Univ. Sch. Med.)

IS1-3

Distribution and Action for MCR Colistin Resistance

○Youjun Feng (Zhejiang Univ. Sch. Medicine)

IS1-4

わが国の AMR サーベイランスと耐性菌バンク

○菅井 基行 (国立感染症研究所・薬剤耐性研究センター)

IS1-5

A Search for Novel Antibiotics

○Kim Lewis (Antimicrobial Discovery Center, Northeastern Univ.)

シンポジウム

S02 日本細菌学会が目指す産官学連携の戦略

2月19日(水) 9:10~11:40
第2会場(5F小ホール1)

コンピーナー: 菊池 賢 (東京女子医科大学)
田村 弘志 (日本バイオベンチャー推進協会/
LPS コンサルティング事務所)

S02-1

産学連携によるイノベーション創出の課題と今後の取り組み

○白井 達郎 (株式会社 産学共同システム研究所)

S02-2

新規抗菌薬の開発を進める上での課題と産官学連携の必要性

○山野 佳則 (塩野義製薬 医薬研究本部)

S02-3

バクテリアの新しいはかり方

○椎木 弘 (阪府大・院工・応用化学)

S02-4

科学と技術『だけじゃない』イノベーション

○原 泰史 (一橋大・経)

S03 「感染と免疫の分子機構」

—日本微生物学連盟共催・四学会合同企画—

2月19日(水) 9:10~11:40

第3会場 (5F小ホール2)

コンピーナー: 寺尾 豊 (新潟大学・日本細菌学会)

竹田 誠 (国立感染症研究所・日本ウイルス学会)

川上 和義 (東北大学・日本感染症学会・日本生体防御学会)

共催: 日本微生物学連盟, 日本ウイルス学会, 日本感染症学会, 日本生体防御学会

S03-1

Xenophagy induction mechanism during Group A Streptococcus infection

○野澤 孝志, 中川 一路 (京大・院医・微生物)

S03-2

MxA functions as an inflammation sensor against influenza virus infection in respiratory epithelium

○川口 敦史 (筑波大・医・感染生物学)

S03-3

増加する肺非結核性抗酸菌症の臨床研究から得られた最近の知見

○石井 誠 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科)

S03-4

腸管好酸球サブセットの同定と機能

○笠松 純^{1,2}, 城下 智⁴, 佐藤 光¹, 川上 和義^{1,3}, Marco

Colonna² (¹東北大・医・感染制御インテリジェンスネットワーク, ²Dept. Pathol. Immunol., Sch. Med., Washington Univ., ³東北大・医・感染分子, ⁴信州大・医・第二内科)

S04 Beyond antibiotics—感染症制御に向けた生物学

2月19日(水) 9:10~11:40

第4会場 (7F 703+704)

コンピーナー: 飯田 哲也 (大阪大学)

藤永 由佳子 (金沢大学)

S04-1

志賀毒素のバイオロジーから見た EHEC 感染症に対する創薬展開

○西川 喜代孝 (同志社大学・生命医科学部)

S04-2

腸管付着阻害剤の開発に向けた細菌定着の構造基盤

○中村 昇太 (阪大微研)

S04-3

細菌の病原性制御システム

○北尾 公英, 久堀 智子, 永井 宏樹 (岐阜大・医・病原体制御)

S04-4

ボツリヌス菌の腸内感染を抑制する腸内因子の解析

○藤永 由佳子 (金沢大・医・細菌)

S04-5

腸内細菌叢による消化管感染症防御機構

○竹田 潔^{1,2} (¹阪大・免フロ, ²阪大・医・免疫制御)

S05 非結核性抗酸菌 (NTM) と、増加著しい難治性の NTM 症

2月19日(水) 9:10~11:40

第5会場 (11F 1102)

コンピーナー: 阿戸 学 (国立感染症研究所)

立石 善隆 (新潟大学)

S05-1

非結核性抗酸菌症の疫学と臨床像

○長谷川 直樹 (慶應大・医・感染症)

S05-2

抗 Interferon- γ 自己抗体がもたらす非結核性抗酸菌症

○坂上 拓郎 (熊本大・医・呼吸器内科)

S05-3

Genome-wide identification of essential genes in nontuberculous mycobacteria

○立石 善隆, 松本 壮吉 (新潟大・医・細菌)

S05-4

Development of gene manipulating tools for Non-Tuberculous Mycobacteria

○阿戸 学 (国立感染症研・ハンセン研・感染制御)

S05-5

肺 MAC 症原因菌 *Mycobacterium avium* の地域多様化

○矢野 大和¹, 丸山 史人², 西内 由紀子³, 岩本 朋忠⁴ (¹東北大・院生命, ²広大・学術・社会連携, ³大阪市大・院医, ⁴神戸市・環境保健研)

S06 感染・共生のゆらぎ—細菌は感染と共生のゆらぎの中でどのように運命を決めるのか？

2月19日(水) 13:10~15:40

第1会場(2F大ホール)

コンピーナー: 三室仁美(大阪大学)
 曳地康史(高知大学)

S06-1

ヘリコバクターピロリ慢性感染の持続戦略

○三室仁美(阪大・微研・感染微生物)

S06-2

自然宿主との多様な関係性に着目したレジオネラ研究

○渡邊健太¹, 橋理人², 清水隆¹, 度会雅久¹ (¹山口大・共同獣医, ²岡山大院・医歯薬)

S06-3

結核; 潜伏維持か発症か?—一病勢を左右する菌と宿主の因子についての最近の知見—

○松本壮吉(新潟大・院・医・細菌)

S06-4

共生細菌であるということ

○菊池義智(産総研・生物プロセス)

S06-5

マメ科植物との共生を司る根粒菌のIII型分泌エフェクター

○岡崎伸(東京農工大・農)

S06-6

クオラムセンシングは、植物病原細菌 *Ralstonia solanacearum* の病原力を精巧に制御する

○曳地康史¹, 甲斐建次², 瀬沼和香奈¹, 竹村知夏¹, 木場章範¹, 大西浩平¹ (¹高知大・農林海洋・植物工学, ²阪府大院・生命環境)

S07 本邦における高病原性微生物研究

2月19日(水) 13:10~15:40

第2会場(5F小ホール1)

コンピーナー: 松村拓大(金沢大学)
 野田岳志(京都大学)

S07-1

自然宿主と野兔病菌の共生関係

○度会雅久(山口大・共同獣医・獣医公衆衛生)

S07-2

劇症型A群溶血性レンサ球菌感染症由来株の細菌学的特徴

○池辺忠義(感染研・細菌1)

S07-3

炭疽の現状と予防対策

○東秀明(北大・人獣センター)

S07-4

ラッサウイルスの侵入阻害薬の探索

○野田岳志(京大・ウイルス再生研・微細構造ウイルス学)

S07-5

新興感染症—インフルエンザならびにエボラ出血熱—

○河岡義裕(東大医科研)

S08 バクテリアの表層構造の構築と機能

2月19日(水) 13:10~15:40

第3会場(5F小ホール2)

コンピーナー: 小嶋誠司(名古屋大学)
 塩見大輔(立教大学)

S08-1

極に1本だけべん毛を形成する: FlhF と FlhG による海洋性ピブリオの極べん毛生成制御機構

○小嶋誠司(名古屋大・院理・生命理学)

S08-2

細菌磁気オルガネラの細胞内配置の分子機構

○田岡東^{1,2} (¹金沢大・理工・生命理工, ²金沢大・ナノ生命)

S08-3

大腸菌内膜で働く膜内切断プロテアーゼ RseP の新規切断基質探索: パーシスター化制御への関与

○檜作洋平, 横山達彦, 秋山芳展(京大・ウイルス・再生研)

S08-4

バクテリア外膜タンパク質アセンブリー解析の手法「EMM アセンブリーアッセイ」

○塩田拓也, Edward Germany(宮大・テニユアトラック推進機構)

S08-5

シアノバクテリアから葉緑体への変貌過程における表層膜構造の進化の解明と応用

○児島征司(パナソニック(株)・テクノロジーイノベーション本部)

S08-6

Outer membrane is required for proliferation of *Escherichia coli* L-form.

○塩見大輔¹, 近田大基¹, 大島拓² (¹立教大・理・生命理, ²富山県立大・工・生物工)

S09 細菌感染とメンブレン

2月19日(水) 13:10~15:40
第4会場(7F 703+704)

コンピーナー: 久堀 智子 (岐阜大学)
新崎 恒平 (東京薬科大学)

S09-1

Vacuole manipulation by *Legionella* deubiquitinases

○久堀 智子, 北尾 公英, 永井 宏樹 (岐阜大・医・病原体制御)

S09-2

糖鎖結合性細菌毒素を用いたゲノムワイド CRISPR スクリーニング

○山地 俊之 (感染研・細胞化学部)

S09-3

肺炎球菌感染における hierarchical なオートファジー誘導

○小川 道永, 大西 真 (国立感染研・細菌1)

S09-4

レジオネラエフェクターの生化学ツールとしての応用

○新崎 恒平 (東京薬大・生命)

S09-5

Analysis of mycobacterial protein PE_PGRS62 and PE_PGRS30

○松村 和典¹, 祝 弘樹², 切替 照雄³ (¹国立国際医療研究セ・疾患制御, ²国立国際医療研究セ・感染症制御, ³順天堂大・医・微生物学)

S09-6

A 群レンサ球菌感染に対するゼノファジーの制御

○中川 一路 (京大・医・微生物感染症)

S10 環境に対応する微生物の生存戦略

2月19日(水) 13:10~15:40
第5会場(11F 1102)

コンピーナー: 中田 匡宣 (大阪大学)
高松 大輔 (農業・食品産業技術総合研究機構)

S10-1

mRNA サーモセンサーにより制御される化膿レンサ球菌の温度感受性線毛産生

○中田 匡宣 (阪大院・歯・口腔細菌)

S10-2

コレラ菌走化性における環境情報感知機構

○川岸 郁朗¹, 西山 宗一郎², 田島 寛隆¹ (¹法政大・生命・生命機能, ²新潟薬科大・生命)

S10-3

ミツバチの病原体ヨーロッパ腐蝕病菌の蜂群内での生存戦略

○高松 大輔^{1,2} (¹農研機構・動衛研, ²岐阜大院・連合獣医)

S10-4

転写のゆらぎと自己ゲノム編集による抗生物質耐性遺伝子の発現

○間世田 英明 (産総研・バイオメディカル・先端ゲノム)

S10-5

Phylogenetic analysis and environmental adaption of multidrug efflux pumps

○Martijn Zwama¹, Akihito Yamaguchi², Kunihiko Nishino¹ (¹Dept. Biomolecular Science and Regulation, Institute of Scientific and Industrial Research, Osaka Univ., ²Laboratory of Cell Membrane Biology, Institute of Scientific and Industrial Research, Osaka Univ.)

S10-6

病原真菌 *Aspergillus fumigatus* の環境応答能の数理モデル化による理解の試み

○高橋 弘喜^{1,2,3} (¹千葉大・真菌, ²千葉大・キラリティ, ³千葉大・植物科学)

S11 人的交流増加による新たな病原菌対応への日本細菌学会のミッション

2月20日(木) 9:10~11:40
第1会場(2F 大ホール)

コンピーナー: 菊池 賢 (東京女子医科大学)

S11-1

細菌性下痢症と東京都における感染症対策

○小西 典子, 河村 真保 (東京都健康安全研究センター 微生物部)

S11-2

インバウンド増加に伴う腸管出血性大腸菌等予防強化に向けた考察

○佐藤 寿夫 (株式会社 日本微生物研究所 精度管理室長)

S11-3

Immigrants; Impact on tuberculosis, especially in multidrug-resistance

○御手洗 聡 (結核予防会結核研究所抗酸菌部)

S11-4

訪日外国人客の増加と細菌感染症の発生動向

○大西 真 (国立感染症研究所)

S12 本邦から世界に発信している薬剤耐性研究, 創薬研究

2月20日(木) 9:10~11:40
第2会場(5F小ホール1)

コンピーナー: 木村 幸司(名古屋大学)
和知野 純一(名古屋大学)

S12-1**Antimicrobial resistance in *Helicobacter cinaedi***

○林原 絵美子¹, 森 茂太郎¹, 金 玄¹, 鈴木 仁人², 柴山 恵吾¹
(¹国立感染症研究所・細菌第二部, ²国立感染症研究所・薬剤耐性研究センター)

S12-2**β-ラクタム系薬低感受性 B 群レンサ球菌(GBS-RBS)**

○木村 幸司¹, 長野 則之², 荒川 宜親¹ (¹名大・医・分子病原細菌学, ²信州大・医・検査技術科学)

S12-3**セフトリアキソン耐性淋菌の世界的な拡散**

○大西 真(国立感染症研究所・細菌第一部)

S12-4**ゲノミクスを用いた環境中の薬剤耐性菌問題への取り組み**

○関塚 剛史, 谷津 弘仁, 糸川 健太郎, 橋野 正紀, 黒田 誠(感染研・ゲノムセンター)

S12-5**ゲノムカバー率 99.9% *Candida glabrata* の組換え体コレクションを用いた抗真菌薬の開発**

○知花 博治(千葉大・真菌・病原機能)

S12-6**薬剤耐性機構とその制御に資する創薬研究**

○和知野 純一, 荒川 宜親(名大院・医・細菌学)

S12-7**シデロフォアセファロスポリン系薬 cefiderocol の研究開発**

○山野 佳則(塩野義製薬・医薬研究本部)

S13 感染症に対する新規創薬は可能か?**—低分子創薬とバイオ医薬品の可能性—**

2月20日(木) 9:10~11:40
第3会場(5F小ホール2)

コンピーナー: 中川 一路(京都大学)
澤 智裕(熊本大学)

S13-1**バクテリアの III 型分泌装置を阻害する低分子物質の開発**

○阿部 章夫(北里大・生命研・細菌感染制御)

S13-2**新規抗結核薬創薬標的の同定の新戦略**

○港 雄介(藤田医大・医・微生物)

S13-3**細菌のシステイン合成酵素阻害剤の探索とその抗菌作用**

○澤 智裕(熊本大・院生命・微生物)

S13-4**物理化学的アプローチによる低分子阻害剤の探索および抗体阻害剤の開発**

○中木戸 誠^{1,2}, 相川 知宏³, 長門石 暁⁴, 妹尾 暁暢², 竹内 美結¹, 星野 将人¹, 下村 拓矢², Jose M. M. Caaveiro⁵, 中川 一路³, 津本 浩平^{1,2,4} (¹東大院・工・バイオエンジ, ²東大院・工・化生, ³京大院・医, ⁴東大・医科研, ⁵九大・薬・グローバルヘルスケア)

S13-5**構造情報を活用したウイルス細胞侵入阻害機構の解明と創薬研究**

○橋口 隆生(九州大学・大学院医学研究院・ウイルス学)

S14 真菌の環境適応術を紐解く

2月20日(木) 9:10~11:40
第4会場(7F 703+704)

コンピーナー: 中村 茂樹(東京医科大学)
中山 浩伸(鈴鹿医療科学大学)
共催: 日本医真菌学会

S14-1***Aspergillus fumigatus* の血清存在下での増殖機構**

○大飼 達也, 梅山 隆, 山越 智, 宮崎 義継(国立感染症研究所・真菌部)

S14-2**宿主因子や病原細菌と *Aspergillus fumigatus* バイオフィルムの相互作用**

○豊留 孝仁^{1,2} (¹帯畜大・獣医, ²千葉大・真菌セ・臨床感染症)

S14-3**Mechanisms of biofilm formation and screening for anti-biofilm agents in *Candida albicans***

○倉門 早苗, 杉田 隆(明治薬大・微生物)

S14-4**ウリ類炭疽病菌の植物シグナル認識と感染器官の形態形成**

○小玉 紗代, 久保 康之(京府大院・生環)

S14-5**薬剤耐性アスペルギルスの現状と今後**

○田代 将人^{1,2} (¹長崎大大学院・医・臨床感染症学, ²長崎大学病院・感染制御教育センター)

S15 常在菌叢，無症候性保菌の新たな展開

2月21日（金）9:10～11:40

第1会場（2F大ホール）

コンピーナー：菊池賢（東京女子医科大学）

秋山徹（国立国際医療研究センター）

S15-1

鼻腔における肺炎球菌の伝播・保菌・感染

○保富宗城（和歌山県立医科大学・耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

S15-2

腸管感染症病原体の無症候性保菌と食中毒について考える

○貞升健志（東京健安研セ・微生物部）

S15-3

Streptococcus pyogenes と *Streptococcus dysgalactiae* の病原性発揮のメカニズム

○秋山徹（国立国際医療研・研究所・感染症制御）

S15-4

ブタの感染性心内膜炎から分離した *Streptococcus suis* の性状

○関崎勉（東大院・農・食の安全セ）

S15-5

変異が及ぼす無症候性保菌から重症感染症への黄色ブドウ球菌病原性変化

○菊池賢（東京女子医大・感染）

S16 薬剤耐性菌問題の切り札！

ファージセラピーの実現に向けた最新の研究

2月21日（金）9:10～11:40

第2会場（5F小ホール1）

コンピーナー：常田聡（早稲田大学）

川野光興（中国学園大学）

S16-1

ファージセラピーを応用していくために何が必要か？

○岩野英知（酪農大・獣医・獣医生化学）

S16-2

黄色ブドウ球菌ファージの特性解析とファージセラピーへの応用

○丹治保典，Azam Aa Haeruman，Chanthol Peng，宮永一彦（東工大・生命）

S16-3

ファージセラピーの実用化に向けた取り組み

○安藤弘樹（岐阜大・医・病原体制御）

S16-4

遺伝子標的型ファージ製剤の開発

○氣駕恒太郎，崔龍洙（自治医大・医・細菌学）

S16-5

ファージ療法の実現に向けた治療効果の基礎的検討—ヒト臨床試験の検証から—

○花輪智子¹，松田剛明²（¹杏林大・医・感染症，²杏林大・医・救急）

S16-6

組換え型と天然ファージを用いたファージ療法の開発及びファージバンクの設立に向けて

○川野光興（中国学園大・現代生活・人間栄養）

S17 電子顕微鏡を用いた細菌の微細構造解析

2月21日（金）9:10～11:40

第3会場（5F小ホール2）

コンピーナー：本間道夫（名古屋大学）

宮田真人（大阪市立大学）

S17-1

モリクテス綱細菌の運動超分子マシナリー

○宮田真人^{1,2}，豊永拓真¹，笹嶋雄也¹，加藤貴之^{3,5}，川本晃大^{3,5}，宮田知子³，難波啓一^{3,4,6}（¹大市大・院理，²大市大・複合先端研，³阪大・生命機能，⁴理研・QBiC，⁵阪大・蛋白研，⁶日本電子YOKOGUSHI協働研究所）

S17-2

Cryo-EM Structure of polymerized Type V pilus of *P. gingivalis* reveals assembly mechanism

○柴田敏史¹，庄子幹郎²，松波秀行¹，Melissa Matthews¹，今田勝己³，中山浩次²，Matthias Wolf¹（¹沖縄科学技術大学院大・Mol. Cryo-EM unit，²長崎大・院医歯薬・口腔病原微生物学講座，³大阪大・院理）

S17-3

クライオ電子顕微鏡によるべん毛モーターの構造解析

○加藤貴之¹，牧野文信²，宮田知子³，川本晃大¹，山口智子^{3,4}，Peter Horvath³，難波啓一^{3,4,5}（¹阪大・蛋白，²日本電子，³阪大・生命機能，⁴理研・生命機能，⁵日本電子YOKOGUSHI協働研究所）

S17-4

アクチン線維とアクチンホモログ ParM 線維の共通点と相違点

○成田哲博（名古屋大・理）

S17-5

クライオ電顕アクセスするには？

○千田俊哉（高エネ機構・物構研・構造生物）

S18 RNA で細菌を制御する

2月21日(金) 9:10~11:40
第4会場 (7F 703+704)

コンピーナー：森田 鉄兵 (鈴鹿医療科学大学)
宮腰 昌利 (筑波大学)

S18-1

The role of transcription termination in sRNA biogenesis

○森田 鉄兵 (鈴鹿医療科学大・薬)

S18-2

翻訳伸長複合体による細胞内 Mg²⁺濃度感知と恒常性維持機構

○茶谷 悠平¹, 丹羽 達也¹, 和泉 貴士¹, 菅田 信幸¹, 長尾 翌手可², 鈴木 勉², 千葉 志信³, 伊藤 維昭³, 田口 英樹¹ (1東工大・研究院, 2東大・工学系研究科, 3京産大・総合生命科学部)

S18-3

リボソームストロクタンパク質の構造・機能研究

○伊東 孝祐^{1,2}, 丸山 圭², 今井 大達², 内海 利男^{1,2} (1新潟大・理・生物, 2新潟大・院・自然研)

S18-4

細菌の mRNA に隠された遺伝子発現制御機能

○宮腰 昌利 (筑波大・医・感染生物学)

S18-5

sRNA regulates pathogenicity during persistent infection of *Helicobacter*

○木下 遼^{1,2}, 氣駕 恒太郎¹, 大坪 亮太², 小椋 義俊³, 眞田 貴人^{1,2}, 岡野 徳壽⁴, 鈴木 敏彦⁴, 山岡 吉生⁵, 林 哲也³, 三室 仁美^{1,2} (1大阪大学微生物病研究所・感染微生物分野, 2東京大学医科学研究所・感染症国際研究センター・感染制御系・細菌学分野, 3九州大学・医学部・細菌学分野, 4東京医科歯科大学・医歯学総合研究科・細菌感染制御学分野, 5大分大学・医学部・環境・予防医学講座)

S18-6

MS2 タグを用いた RNA 精製による細胞内複合体解析と腸管出血性大腸菌の病原性発現における転写後制御

○須藤 直樹 (北里大・薬・微生物学)

S18-7

RNA 結合タンパク質ターゲットの包括的理解

○千原 康太郎, 常田 聡 (早大・先進理工学・生命医科)

S19 細菌を取り巻く機能性ペプチドの up to date

2月21日(金) 9:10~11:40
第5会場 (11F 1102)

コンピーナー：田端 厚之 (徳島大学)
長岡 功 (順天堂大学)

S19-1

ペプチドを利用した菌の生残システムの検討

○泉福 英信 (国立感染研・細菌I部)

S19-2

アンギノサス群レンサ球菌が産生するペプチド溶血毒素 Streptolysin S の特徴と細胞障害性

○田端 厚之 (徳島大院・社会産業理工学)

S19-3

生体防御ペプチド LL-37 の敗血症モデルに対する保護効果

○長岡 功¹, 熊谷 由美¹, 細田 浩司², 村上 泰介¹, 鈴木 香¹ (1順天堂大・医・生化学・生体防御学, 2東京農業大・生命科学・分子微生物)

S19-4

Skillful survival strategies with TCSs of commensal bacteria against antimicrobial peptides

○松尾 (川田) 美樹¹, 小松澤 均² (1鹿児島大・院医歯・口腔微生物学, 2広島大・院医系・細菌)

S19-5

Bacteriocin: Potential use for clinic and its cautions

○小松澤 均 (広島大院・医系科学・細菌学)

S19-6

ライソシン E の構造に基づく新規人工抗菌ペプチド群の網羅的創出

○井上 将行 (東大院・薬)

ワークショップ

WS01 多角的な研究アプローチで再考する肺炎球菌感染症—疫学からワクチン・治療法まで—

2月19日(水) 15:50~17:50
第2会場 (5F 小ホール 1)

コンピーナー：木村 聡一郎 (東邦大学)
金城 雄樹 (東京慈恵会医科大学)

WS01-1

侵襲性肺炎球菌感染症 (IPD) の疫学研究—小児 IPD 研究を中心に—

○常 彬¹, 菅 秀² (1感染研・細菌第一部, 2三重病院)

WS01-2

肺炎球菌の菌体表層タンパク質群に着目した病態形成機構の解明

○山口 雅也 (阪大院・歯・口腔細菌)

WS01-3

肺炎球菌に対する宿主応答の基礎的解析

○木村 聡一郎, 館田 一博 (東邦大・医・微生物感染症学)

WS01-4

肺炎球菌蛋白ワクチンによる免疫応答の解析

○金城 雄樹^{1,2,3} (1慈恵医大・医・細菌, 2慈恵医大・バイオフィルム研究センター, 3東北大・院医・感染制御インテリジェンスネットワーク)

WS01-5

肺炎球菌の新規治療戦略

○土門 久哲^{1,2} (1新潟大・院医歯・微生物, 2新潟大・院医歯・口腔研究セ)

WS02 話題の感染症

2月19日(水) 15:50~17:50

第3会場 (5F小ホール2)

コンピーナー: 山崎 伸二 (大阪府立大学)

飯島 義雄 (神戸市環境保健研究所)

WS02-1

コリネバクテリウム・ウルセランス

○岩城 正昭 (感染研・細菌二)

WS02-2

我が国におけるアニサキス症とその原因食品

○鈴木 淳 (東京都健康安全研究センター・微生物部)

WS02-3

新興腸管感染症起因菌 *Escherichia albertii* の検査法と新たに見えてきたこと

○日根野谷 淳 (大阪府大院・生命環境・獣医)

WS02-4

ゲノムから見えてきた新興下痢症起因菌 *Escherichia albertii* の特徴とその応用

○大岡 唯祐 (鹿児島大院・医歯学・微生物)

WS02-5

インフルエンザの制圧を目指して

○河岡 義裕 (東大医科研)

WS03 選抜ワークショップ: 分類・疫学・感染症

2月19日(水) 15:50~17:50

第4会場 (7F 703+704)

WS03-1 (P1-032)

集団下痢症事例から分離された病原因子不明大腸菌のゲノム解析

○小椋 義俊¹, 佐々木 麻里², 成松 浩志², 石丸 海³, 有水 遥子¹, 後藤 恭宏¹, 中村 佳司¹, 林 哲也¹ (1九大・医・細菌, 2大分衛環研・微, 3九大・医)

WS03-2 (P1-001)

我が国における単相変異型 *Salmonella* Typhimurium の小進化

○新井 暢夫^{1,2}, 関塚 剛史³, 玉村 雪乃², 楠本 正博², 日根野谷 淳¹, 山崎 伸二¹, 岩田 剛敏², 渡部 綾子², 黒田 誠³, 秋庭 正人^{1,2} (1大阪府大院・生命環境, 2農研機構・動衛研, 3感染研・ゲノム)

WS03-3 (P1-012)

Molecular epidemiological characteristics of *Enterobacter cloacae* complex blood isolates

○ジャヤテイラケ サランギ¹, 松尾 奈緒², 野々垣 里奈², 林 道子², 鈴木 匡弘³, ジン ワンチョン¹, 和知野 純一¹, 木村 幸司¹, 荒川 宜親¹ (1名古屋大学, 2名古屋大学大学院医学系研究科病態生理科学, 3藤田保健衛生大学微生物学科)

WS03-4 (P1-011)

Genomic analysis of a pandrug-resistant *Klebsiella pneumoniae* sequence type 11

○西田 智, 上田 たかね, 祖母井 庸之, 佐藤 義則, 永川 茂, 斧 康雄 (帝京大・医・微生物)

WS03-5 (P1-010)

当院5年間のカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)の検出状況とCRE 検出上位2菌種の薬剤感受性の推移

○村 竜輝¹, 麻生 都¹, 森田 恵美¹, 金谷 和美¹, 河村 佳江¹, 飯沼 由嗣^{1,2} (1金沢医大病院・中検, 2金沢医大・臨床感染症)

WS03-6 (P1-009)

Streptococcus pyogenes emm 89型の侵襲性に寄与する因子の検索

○広瀬 雄二郎¹, 山口 雅也¹, 秋山 徹², 竹本 訓彦², 奥野 ルミ³, 山口 貴弘⁴, 大塚 仁⁵, 住友 倫子¹, 中田 匡宣¹, 川端 重忠¹ (1阪大院・歯・口腔細菌, 2国際医療研究セ・感染症制御, 3都健安研・微生物, 4大阪健安研・微生物, 5山口県環保研セ)

WS03-7 (P1-038)

乳児ボツリヌス症と乳児突然死症候群(SIDS)との関連性

○松村 拓大, 阿松 翔, 油谷 雅広, 藤永 由佳子 (金沢大・医・細菌)

WS03-8 (P1-031)

マダニ内の *Rickettsia japonica* と非病原性 *Rickettsia* の識別検出

○小野田 瑛厘¹, 蘇 泓如¹, 坂部 茂俊², 赤地 重宏³, 藤田 博己⁴, 大石 沙織⁵, 阿部 冬樹⁵, 神田 隆⁵, 大橋 典男¹ (1静岡県立大・食品栄養科学・微生物, 2伊勢赤十字病院, 3三重保健環境研, 4馬原アカリ研, 5静岡環境衛生研)

WS04 食の安全に果たす細菌学の役割

2月19日(水) 15:50~17:50
第5会場(11F 1102)

コンピーナー：関崎 勉(東京大学)
寺嶋 淳(岩手大学)

WS04-1

鶏の生産・食鳥処理・消費段階における *Campylobacter* spp.の動態解析

○朝倉 宏¹, 山本 詩織¹, 中山 達哉¹, 佐々木 貴正¹, 中村 寛海²
(¹国立衛研・食品衛生管理, ²大安研・微生物)

WS04-2

ウェルシュ菌の芽胞形成および発芽を標的とした食中毒制御

○三宅 眞実^{1,2}, 安木 真世¹ (¹大阪府大・生命・獣医公衆衛生,
²大阪府大・食安科研センター)

WS04-3

大腸菌の広域血清型を判定できるマルチプレックスPCR法の実用例と課題

○井口 純(宮崎大・農・畜産草地)

WS04-4

ゲノミクス・メタゲノミクスからのアプローチ

○飯田 哲也(阪大・微研・細菌感染)

**WS05 選抜ワークショップ：遺伝・ゲノミクス・
バイオテクノロジー、抗菌性物質・薬剤耐性**

2月20日(木) 15:20~17:20
第2会場(5F小ホール1)

WS05-1 (P2-079)

細菌ゲノミクスを支援する Global Genome Epidemiology Database (gGENEPIID) の開発

関塚 剛史, 谷津 弘仁, 糸川 健太郎, ○黒田 誠(感染研・ゲノムセンター)

WS05-2 (P2-084)

EHEC O121:H19の継代培養中に生じる乳糖分解性の変化に関する遺伝的メカニズムの解析

○中村 佳司, 谷口 愛樹, 西田 留梨子, 後藤 恭宏, 小椋 義俊, 林 哲也(九大院・医・細菌学)

WS05-3 (P2-088)

クロストリジウム属に保存される新規タンパク質複合体による芽胞形成制御メカニズムの解析

○武藤 真輝¹, 尾花 望^{2,3}, 野村 暢彦^{3,4} (¹筑波大・生命環境, ²筑波大・医学医療系・トランスポーター医学研究センター, ³筑波大・微生物サステナビリティ研究センター, ⁴筑波大・生命環境系)

WS05-4 (P2-093)

耐性遺伝子の除去に抗した耐性表現型の履歴依存的な維持

○小金澤 優太¹, 梅谷 実樹^{1,2}, 佐藤 守俊^{1,2,3}, 若本 祐一^{1,2,3} (¹東大・総合文化・広域科学, ²東大・複雑系生命, ³東大・生物普遍性)

WS05-5 (P2-078)

Bird's-eye mapping of antimicrobial resistance plasmids in an Excel file by Python

○津田 裕介, 荒川 宜親(名古屋大・医・細菌学)

WS05-6 (P2-182)

家族内および家族間における blaCTX-M の伝播

○屋宜 宣慶, 平井 到(琉球大・保健・微生物)

WS05-7 (P2-181)

Oxacillin 感性 *mecA* 陽性黄色ブドウ球菌のβラクタム薬 in vitro 高度耐性化機構の解析

○渡邊 真弥, Tanit Boonsiri, Kanate Thitianapakorn, XinEe Tan, 相羽 由詞, 佐藤 祐介, 氣 駕 恒 太 朗, 瀧 雄 介, 笹 原 鉄 平, 崔 龍 洙 (自治医大・医・細菌学)

WS05-8 (P2-192)

マイトマイシンC誘導フェージによるレジオネラ属菌殺菌に関する検討

○青木 弘太郎, 長沢 達矢, 石井 良和, 舘田 一博(東邦大・医・微生物・感染症)

WS06 選抜ワークショップ：病原性

2月20日(木) 15:20~17:20
第3会場(5F小ホール2)

WS06-1 (P2-104)

ヒト肝臓細胞における新規 Cholix 結合膜蛋白質の同定と細胞致死機構の解明

○八尋 錦之助¹, 小倉 康平², 寺崎 泰弘³, 宮城 聡⁴, 山崎 栄樹⁵
(¹千葉大院・医・病原細菌制御学, ²金沢大・新学術創成研究機構, ³日本医科大・解析人体病理学, ⁴島根大・医・生命科学, ⁵帯広畜産大・動物食品検査診断センター)

WS06-2 (P2-103)

ボルデテラ属細菌が産生するタンパク質 BopN の機能領域の解析

○木下 紗綾, 桑江 朝臣, 阿部 章夫(北里大・感染制御科学府・分子細菌学)

WS06-3 (P2-102)

A群レンサ球菌は宿主細胞内膜輸送経路を破壊させることで上皮バリアシステムの恒常性を低下させる

○飯伏 純平, 藤 博貴, 野澤 孝志, 中川 一路(京大院・医・微生物)

WS06-4 (P2-097)

インフルエンザに続発する細菌性肺炎の発症における GP96 の機能解析

○住友 倫子¹, 中田 匡宣¹, 長瀬 賢史², 高原 悠樹¹, 山口 雅也¹, 岡本 成史², 川端 重忠¹ (1大阪大・歯・口腔細菌, 2金沢大・医薬保健・病態検査)

WS06-5 (P2-121)

肺炎球菌感染細胞における LAPosome 様小胞の誘導機構解析

○雫石 早矢佳^{1,2}, 小川 道永¹, 高田 直輝^{1,3}, 梁 明秀², 竹山 春子³, 大西 真¹ (1感染研・細1, 2横浜市大・医・微生物, 3早大・先進理工・生命医科)

WS06-6 (P2-127)

Gram-positive pathogens activate inflammasome to promote bacterial survival in infected mice

○原 英樹¹, Gabriel Nunez², 吉村 昭彦¹ (1慶應大・医・微生物免疫, 2ミシガン大・医・病理)

WS06-7 (P2-120)

Large peritoneal macrophage delivers Salmonella from the peritoneal cavity to the greater omentum

○高屋 明子¹, 田代 翔吾¹, 横井 達成¹, 後藤 義幸², 高橋 志達³, 岡 健太郎³, 川島 博人¹, 山本 友子² (1千葉大・院薬・免疫微生物学, 2千葉大・真菌セ, 3ミヤリサン製薬)

WS06-8 (P2-096)

分泌タンパク質の脂質認識を介した腸管毒素原性大腸菌の腸管定着

○井本 裕佳¹, 沖 大也², 河原 一樹³, 今井 友也⁴, 松田 重輝², 児玉 年央², 飯田 哲也², 吉田 卓也³, 大久保 忠恭³, 中村 昇太² (1阪大・薬, 2阪大・微研, 3阪大院・薬, 4京大・生存研)

WS07 選抜ワークショップ：生態、生理・構造

2月20日(木) 15:20~17:20
第4会場 (7F 703+704)

WS07-1 (P2-050)

大腸菌外膜小胞に依存するマクロファージ由来エキソソームによる炎症性因子の誘導機構

○今宮 里沙¹, 岡 真優子¹, 南山 幸子¹, 堀口 安彦² (1京都府大院・生命環境・食環境安全性, 2大阪大・微研・分子細菌)

WS07-2 (P2-039)

Metabolism Changing of *Vibrio vulnificus* Infected Tissue in Wound Infection Model Mouse

○石田 快¹, 下畑 隆明¹, 神田 結奈¹, 増田 瑠見子¹, 上番 増喬¹, 馬渡 一論¹, 柏本 孝茂², 高橋 章¹ (1徳島大院・医歯薬学・予防環境栄養学, 2北里大・獣医・公衆衛生)

WS07-3 (P1-057)

Streptococcus mutans の Gtfs に依存した membrane vesicles 産生と抗 Gtfs 抗体の誘導

○中村 知世^{1,2}, 岩淵 佑介², 成澤 直規², 竹永 章生², 中尾 龍馬¹, 泉福 英信¹ (1日大院・生資科, 2感染研・細菌第一)

WS07-4 (P2-049)

高速 AFM の位相モードを用いた細菌表面物性の生細胞イメージング

○菊池 洋輔¹, 市中 佑樹¹, 豊福 雅典^{2,3}, 尾花 望^{3,4}, 野村 暢彦^{2,3}, 田岡 東^{1,5} (1金沢大・理工, 2筑波大・生命環境, 3筑波大・生命環境, 4筑波大・微生物サステイナビリティ研, 5金沢大・ナノ生命研)

WS07-5 (P2-062)

皮膚微生物が形成する複合系バイオフィルムの時空間的解析

○釣流 香織¹, 野村 暢彦^{2,3}, Andrew S. Utada^{2,3}, 尾花 望^{3,4} (1筑波大院・生命環境, 2筑波大・生命環境系, 3筑波大・微生物サステイナビリティ研究センター, 4筑波大・医学医療系・トランスポーダー医学研究センター)

WS07-6 (P2-067)

口腔内産生 lantibiotics bacteriocin が及ぼす腸内細菌叢への影響

○米澤 英雄¹, 茂木 瑞穂², 北条 史⁴, 黒木 靖敏³, 岡 健太郎³, 高橋 志達³, 大崎 敬子¹, 神谷 茂¹ (1杏林大・医・感染症学, 2東京医科歯科大・歯・小児歯科, 3ミヤリサン製薬株式会社・東京研究部, 4杏林大・医・実験動物施設)

WS07-7 (P2-044)

滑走する *Flavobacteria* の集団運動は動的回転を伴う予期せぬ渦構造を示す

○中根 大介, 西坂 崇之 (学習院大・理・物理)

WS07-8 (P2-043)

合成細菌 syn3.0 におけるスピロプラズマ遊泳運動の再現とその起源の探索

○木山 花¹, 柿澤 茂行², 宮田 真人^{1,3} (1阪市大・院理, 2産総研・生物プロセス, 3阪市大・複合先端)

WS08 Membrane vesicle 研究におけるパラダイムシフトとその応用

2月21日(金) 13:00~15:00
第1会場 (2F 大ホール)

コンピーナー：中尾 龍馬 (国立感染症研究所)
豊福 雅典 (筑波大学)

WS08-1

MV 形成機構におけるパラダイムシフトとその応用

○豊福 雅典^{1,2} (1筑波大・生命環境, 2微生物サステイナ)

WS08-2

環境変化に应答する細菌の膜脂質変動と膜小胞分泌

○田代 陽介^{1,2} (1静岡大・工・化学バイオ, 2JST さきがけ)

WS08-3

「運び屋」ではなく「触媒」として働く細菌膜小胞

○岡本 章玄^{1,2,3} (1物材研・MANA, 2北大・総合化学, 3JST・さきがけ)

WS08-4

細胞外小胞を介したプロテオスタシスの制御

○杉本 真也 (慈恵医大・医・細菌)

WS08-5

外来抗原を運ぶ膜小胞キメラの経鼻投与後の粘膜免疫応答

- 中尾 龍馬¹, 平山 悟¹, 松本 直子^{1,2}, Jens Karlsson³, 大西 真¹ (¹感染研・細菌 1, ²新八街病院・歯口外, ³Dept. MTC, Karolinska Inst.)

WS08-6

細胞外小胞エクソソームによる疾患の発症機序

- 華山 力成 (金沢大・WPIナノ生命研)

WS09 私はこれで評価されて PI になれたのだと思います
～PI になるには～

2月21日(金) 13:00～15:00

第2会場 (5F 小ホール 1)

コンピーナー: 木村 幸司 (名古屋大学)
中川 一路 (京都大学)

WS09-1

私はこれで PI になれたのだとおもいます。

- 松本 壮吉 (新潟大・院・医・細菌)

WS09-2

PI になるために～薬学出身者の立場から～

- 黒田 照夫 (広島大・院・医系・微生物)

WS09-3

研究をとおして得た経験—PI になる前になった後—

- 藤永 由佳子 (金沢大・医・細菌)

WS09-4

Identification and characterization of a novel virulence factor of *Helicobacter pylori*

- 柴山 恵吾 (国立感染研・細菌第二部)

WS09-5

私の研究歴: 若い研究者にお伝えしたいこと

- 永井 宏樹 (岐阜大・医・病原体制御)

WS09-6

いかにして, 名古屋大学でポジションを得るか。

- 本間 道夫 (名古屋大・院理・生命理学)

WS10 環状ヌクレオチド: 細菌の増殖とふるまいを制御する
低分子シグナリングの機能と役割

2月21日(金) 13:00～15:00

第3会場 (5F 小ホール 2)

コンピーナー: 村上 圭史 (徳島大学)
尾崎 省吾 (九州大学)

WS10-1

カウロバクター菌における染色体複製と細胞分裂とを連係する機構の解析

- 尾崎 省吾, 若杉 泰敬, 片山 勉 (九州大・薬・分子生物)

WS10-2

細菌べん毛運動と c-di-GMP: 海洋性ビブリオの YcgR ホモログ PlzD の運動への影響

- 小嶋 誠司 (名古屋大・院理・生命理学)

WS10-3

緑膿菌における c-di-GMP によるバイオフィーム形成の制御

- 村上 圭史, 藤猪 英樹 (徳島大院・医歯薬・口腔微生物学)

WS10-4

c-di-GMP による宿主側の造血リモデリング

- 田久保 圭誉 (国立国際医療研究センター研究所・生体恒常性 PJ)

WS11 選抜ワークショップ: 生体防御

2月21日(金) 13:00～15:00

第4会場 (7F 703+704)

WS11-1 (P2-153)

豚丹毒菌の新規経口生ワクチンの開発

- 西川 明芳¹, 小川 洋介¹, 白岩 和真¹, 江口 正浩¹, 下地 善弘^{1,2} (¹農研機構・動物衛生研究部門, ²東京理科大・生命医科学研究所)

WS11-2 (P2-152)

ウェルシュ菌によるメンブレンヴェシクルを介した免疫優性抗原の輸送

- 奥脇 響¹, 尾花 望^{2,3}, 永山 恭子¹, 中尾 龍馬⁴, 泉福 英信⁴, 野村 暢彦^{3,5} (¹筑波大・院・生命環境, ²筑波大・医・トランスポーダー医学研究センター, ³筑波大・微生物サステイナビリティセンター, ⁴国立感染研・細菌第一, ⁵筑波大・生命環境)

WS11-3 (P2-154)

ピオグリタゾン, 高齢マウスにて細菌感染に対する肝臓の自然免疫機能を増強する。

- 中島 正裕, 木下 学, 中島 弘幸, 関 修司 (防衛医大・医・免疫微生物)

WS11-4 (P2-147)

Antimicrobial peptide LL-37 induces antibacterial ectosomes from neutrophils and exosomes

- 熊谷 由美¹, 村上 泰介¹, 桑原 京子², 長岡 功¹ (¹順天堂大・医・生化学生体防御学, ²順天堂大・医・微生物)

WS11-5 (P2-166)

Biocontrol of *Clostridium perfringens* by using Two Types of Specific Endolysins

- 成谷 宏文¹, 岡田 真歩², 玉井 栄治³, 関谷 洋志³, 島本 敏¹, 島本 整¹ (¹広島大・院・統合生命科学・食品衛生学, ²広島大・院・生物圏科学・食品衛生学, ³松山大・薬・感染症学)

WS11-6 (P2-167)

Fitness cost によって誘導される *P. aeruginosa* 変異株のファージ感受性トレードオフ

○藤木 純平¹, マンピ モンゴメリ¹, 中村 暢宏¹, 権平 智², 佐々木 道仁³, 白井 優⁴, 樋口 豪紀², 澤 洋文³, 田村 豊^{4,5}, 岩野 英知¹ (1酪農大・獣医・獣医生化学, 2酪農大・獣医・獣医衛生学, 3北大・人獣・分子病態, 4酪農大・獣医・食品衛生学, 5酪農大・動物薬教育研究セ)

WS11-7 (P2-164)

ファージによるアトピー性皮膚炎における皮膚細菌叢制御の試み

○島守 祐月^{1,2}, 鈴木 徹³, 満仲 翔一¹, 斎藤 真澄³, 葛井 一宏³, 武田 茂樹², 久堀 智子¹, 永井 宏樹¹, 安藤 弘樹¹ (1岐阜大・医・病原体制御, 2群馬大・理工学, 3岐阜大・応用生物)

WS11-8 (P2-165)

Generation of bactericidal chimeric phage against MRSA using phagemid

○李 峰宇, 氣 駕 恒太朗, Xin Ee Tan, 崔 龍洙 (自治医大・医・細菌学)

WS12 細菌学若手コロッセウム in みやぎ蔵王 切磋琢磨する若手研究者たち

2月21日(金) 13:00~15:00

第5会場 (11F 1102)

コンピーナー: 山口 雅也 (大阪大学)

松本 靖彦 (明治薬科大学)

WS12-1

細菌集団中に出現する細胞壁が分解された細胞の解析

○兼松 周作¹, 野村 暢彦^{2,3}, 豊福 雅典^{2,3} (1筑波大学・生命環境, 2筑波大・生命環境, 3筑波大学・微生物サステイナビリティ研究センター)

WS12-2

亜硝酸酸化細菌 *Nitrospira* に保存された新規 MazEF 機構の解明

○葵 理恵^{1,2}, 宮本 龍樹^{1,2}, 横田 亜紀子², 大田 悠里^{1,2}, 藤谷 拓嗣^{2,3}, 常田 聡¹, 野田 尚宏^{1,2} (1早稲田大・先進理工・生命医科, 2産総研・バイオメディカル, 3早稲田大・ナノライフ創新研究機構)

WS12-3

RodZ regulates assembly of Rod complex in *Escherichia coli*.

○阿合理沙¹, 岡本 尚², 仁木 宏典², 塩見 大輔¹ (1立教大・理・生命理, 2遺伝研)

WS12-4

黄色ブドウ球菌ファージ由来エンドライシンの溶菌活性解析

○中村 暢宏, 藤木 純平, 北名 純也, 岩野 英知 (酪農大・獣医・獣医生化学)

WS12-5

eGFP を発現した病原性真菌 *Trichosporon asahii* を用いたカイコ感染モデルの確立

○松本 靖彦¹, 山崎 豪己¹, 山崎 雄介¹, 立山 祐樹¹, 山田 剛², 杉田 隆¹ (1明治薬科大学・微生物, 2帝京大学医真菌研究センター)